

## 令和6年度 舞岡高等学校不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	教育公務員として、常に高度な行為規範を意識し、倫理意識の向上に努め、校務外非行を根絶する。	<p>○法令順守、教育公務員としての立場を自覚して責務を果たす意識についてチェックシートによる確認研修を実施したところ十分に信頼を得られる結果であった。</p> <p>○令和6年9月に全職員を対象とした法令遵守、服務規律保持に関する不祥事防止研修会を実施し、不祥事根絶に向けた取組みを指示した。</p> <p>【目標は達成できた】</p>
わいせつ、セクハラ行為の防止	モラルと当事者意識を高めると同時に、携帯電話や電子メール等の不適切な使用を防止し、セクハラ、わいせつに係る不祥事の根絶を図る。	<p>○校内初任者研修では、映像資料を活用するなど研修を工夫しながら実施することで、わいせつ・セクハラ行為を起こさない意識を醸成することができた。</p> <p>○教職員間の報告・連絡・相談が円滑に行われるような組織づくりを行うとともに、どんなことでも相談できる風通しの良い職場づくりと同僚性の醸成に努めた。</p> <p>○令和6年6月に「わいせつ・セクハラ行為の防止」、令和7年2月にハラスメントに関する不祥事防止研修会を実施し、不祥事根絶に向けた取組みを指示した。</p> <p>【目標は達成できた】</p>
体罰、不適切指導の防止	体罰は子どもの人権や子どもと教職員との信頼関係を根底から覆すものであるという意識を職場全体に浸透させ、体罰や不適切な指導の根絶を目指す。	<p>○啓発資料を活用しチェックシートによる自己の振り返りを行う研修を実施することで、教育公務員の立場を常に自覚して生徒に対して職責を果たす意識の強化を図ることができた。</p> <p>○特に、令和6年7月に全職員を対象にした体罰、不適切な指導防止に関する不祥事防止研修会を実施し、体罰や不適切な指導が生徒の人権に係る重大な問題であるという意識を職場全体に浸透させた。</p> <p>○教育相談コーディネーター及びスクールカウンセラーとの連携を強化して相談窓口を設けることにより、生徒がどんなことでも気軽に相談できる相談体制を確立した。</p> <p>【目標は達成できた】</p>

成績処理・進路関係書類の作成・取り扱い及び入学者選抜に係る事故防止	成績処理、通知表、調査書等作成及び入学者選抜に係る事故防止のために組織的な確認作業の徹底を図る。	<p>○成績処理関係についてマニュアルに準じて滞りなく業務を実施できた。</p> <p>○令和6年6月に成績処理に関する不祥事防止研修会を実施した。</p> <p>○令和6年9月には、指定校推薦等の校内選考や調査書作成に係る作業手順や注意点について共通理解を図るとともに点検・確認を徹底した。</p> <p>○令和7年1月に全教職員を対象とした入学者選抜に係る不祥事防止研修会を実施し、マニュアルおよび、採点・照合方法について当日の実施体制を周到に準備、確認し、適正な入学者選抜に臨むことができた。</p> <p>【目標は達成できた】</p>
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報保護及び情報セキュリティへの理解を深め、組織的な確認作業により、個人情報保護や情報管理に係る事故の未然防止を図る。	<p>○個人情報等の重要情報分類表等を整理し、全職員に周知する等により、個人情報等の分類を明確にするとともに情報セキュリティ対策を周知し個人情報等に係る事故を未然に防ぐことができた。</p> <p>○令和6年10月に全職員を対象とした不祥事防止研修会を実施し、情報管理についての意識向上を図るとともに、県の規定に基づいた適切な運用を再確認した。</p> <p>【目標は達成できた】</p>
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通安全への意識を高め、交通事故、酒酔い・酒気帯び運転等の未然防止を図る。	<p>○令和6年12月に全職員を対象とした不祥事防止研修会を実施し、特に年末を迎えて酒気帯び運転等交通安全に関する資料を示して研修を実施した。</p> <p>【目標は達成できた】</p>
会計業務等の適正執行	改正された「私費会計事務処理の手引き」を再確認し、適正な執行に努める。	<p>○事故防止会議を通して会計事務処理について適正な執行方法を職員に共有することで事故防止に努め、円滑な執行手続きやチェック体制を確立し、目標を概ね達成することができた。</p> <p>○令和6年11月に全職員を対象とした不祥事防止研修会を実施し、適切な会計処理について共通理解を深めた。</p> <p>【目標は達成できた】</p>

## ○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題

- ・定期的に事故不祥事防止会議および不祥事防止研修会を設定し、県行政課発行の啓発資料を活用して教職員が取り組むべき課題を共有した。これにより職員の不祥事防止に対する意識の向上を図ることができた。特にわいせつ・セクハラ行為の防止、体罰・不適切指導の防止については、あらゆる方策を講じながら取り組んでいきたい。
- ・全職員に対し教育公務員としての自覚を促すとともに責任ある行動を求める。
- ・職員間のコミュニケーションを密にし、風通しの良い職場づくりに努め情報共有を図ることで不祥事防止に対する意識を高めていきたい。